

## 6年生実践から見る 指導と評価

### 1. 単元名 「明治の新しい国づくり」 ～近代化を目指した人々～

### 2. 学校教育目標と社会科で目指す子どもの姿

### 3. 単元目標

黒船の来航、廃藩置県や四民平等などの改革、文明開化について、人物の働きに着目し、地図や年表などの資料で調べ、我が国の歴史上の主な事象を捉え、我が国の歴史の展開を考え、表現することで、我が国が明治維新を機に欧米の文化を取り入れつつ近代化を進めたことを理解できるようにするとともに、主体的に学習問題を追究解決しようとする態度を養う。

### 4. 評価規準

| 知識・技能  | 思考・判断・表現   | 主体的に学習に取り組む態度  |
|--|--|--|
| ①世の中の様子、人物の働きについて、地図や年表などの資料で調べ、必要な情報を集め、読み取り、黒船の来航、廃藩置県や四民平等などの改革、文明開化の様子を理解している。<br>②調べたことを年表や文などにまとめ、我が国が明治維新を機に欧米の文化を取り入れつつ近代化を進めたことを理解している。 | ①世の中の様子、人物の働きなどに着目して、問いを見出し、黒船の来航、廃藩置県や四民平等などの改革、文明開化について考え表現している。<br>②黒船の来航、廃藩置県や四民平等などの改革、文明開化を関連づけたり、総合したりして、この頃の世の中の様子を考え、適切に表現している。 | ①黒船の来航、廃藩置県や四民平等などの改革、文明開化について、予想や学習計画を立てたり、見直したりして、主体的に学習問題を追究し、解決しようとしている。 |

## 5. 目指す子どもの姿に迫るための授業改善の5つの視点

### (1) 教材化 ～明治政府の意図を捉えられる教材化～

本単元で学習する時代の日本は、近代化を進めるために様々な改革を行っていました。ただ、一つひとつの改革について調べて終わるのではなく、それらの諸改革をつなげていくことを通して、明治政府の人たちは、どんなことを大切にしながら、新しい国づくりを目指していたのかという思いや考えに迫るようにしました。

本時では「(廃藩置県をすすめようとしていた時の) 西郷隆盛の言葉」を提示しました。西郷隆盛は大政奉還時の江戸城無血開城のように、話し合いをした人という既習のイメージとのズレを生むことができると考えました。「そこまでして何故、廃藩置県をすすめたかったのだろう。」と問うことで、明治政府が行った諸改革を結びつけながら、明治政府が近代化した国を目指したことを表現できるよう、教材化を図りました。

### (2) 学習過程 ～学習計画の質を高める3つの視点～

単元の導入では、1872年と1850年の高輪の様子を比べることから、約20年という期間で町の様子や人々の生活が大きく変化したことに気づき、「日本はどのように近代化を推し進めていったのだろうか」という学習問題を立てました。学習計画を立てる場面では、これまでの社会科学学習で得た既習をもとにした予想から、「外国とのつながり」「政治」「文化」という3つの視点で問題を解決できるようにしました。その視点にそった個での調べ学習の時間も設定しました。これらの中で、単元の見通しをもつことができ、主体的に問題を解決しようとする態度の育成につながると考えました。

### (3) 学習活動 ～「個別最適な学び」と「協働的な学び」～

本単元では、「個別最適な学び」を充実させるため、①学習計画を立て後に、学習問題の解決に向けて自分なりの方法で調べる時間の設定、②前時の最後に学習問題を立て、次時まで自分の予想や考えをもてるようにすること。という2つの方法を取り入れていきました。

また、本時の学習がこれまでの既習と繋げて考えることができるように「明治政府の人たちは(諸改革を通して) どのようなことを大切に政治を行ったのだろうか。」という学習問題を設定し、「西郷隆盛の言葉」をキッカケに考えることで「近代化」という本単元で大切になるキーワードと既習の諸改革を結び付けながら「協働的」に話し合うことができると考えました。

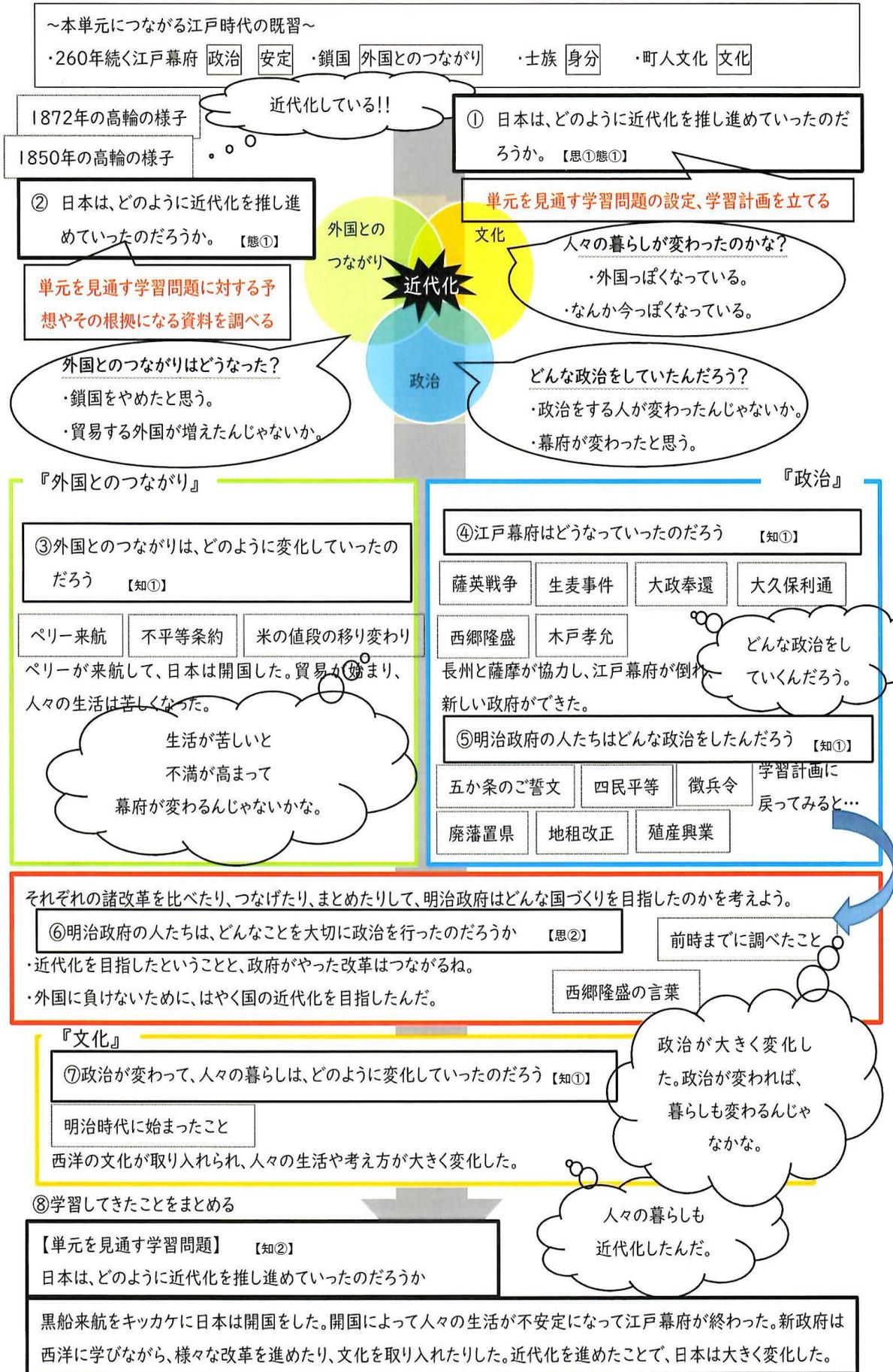
### (4) 指導と評価 ～「個」への支援～

単元の2時間目で行う個での調べ学習や、単元を通して行う次時までの調べ学習では、GIGA 端末のミライシードを用いて、子どもたち同士が、見つけた資料を共有できるようにしていきました。そのことで、教師がより個を見取ったり、支援したりしていくことができました。この「個」への見取りと支援の充実は、「指導と評価の一体化」につながるのではないかと考えました。

### (5) 一人一人が生きる社会科学習 ～どの子ども安心して学べる学級～

これまで、「自信がないことも出し合おう。」「自信がないことこそ発信しよう。」という声掛けをどの教科の時間でも行ってきました。社会科学習では、教師からの一方的な課題・資料提示は行わず、子どもたちのつぶやきや資料共有を大切にしながら授業を進めていきました。子どもたち同士が対話をしながら学習できるように、相手意識をもった話し方の指導や、個の見取りと支援を充実させ、「全員で授業を作り上げる」という意識を育てたいと考えました。

## 6. 問題解決的な学習の充実に迫るための単元構想



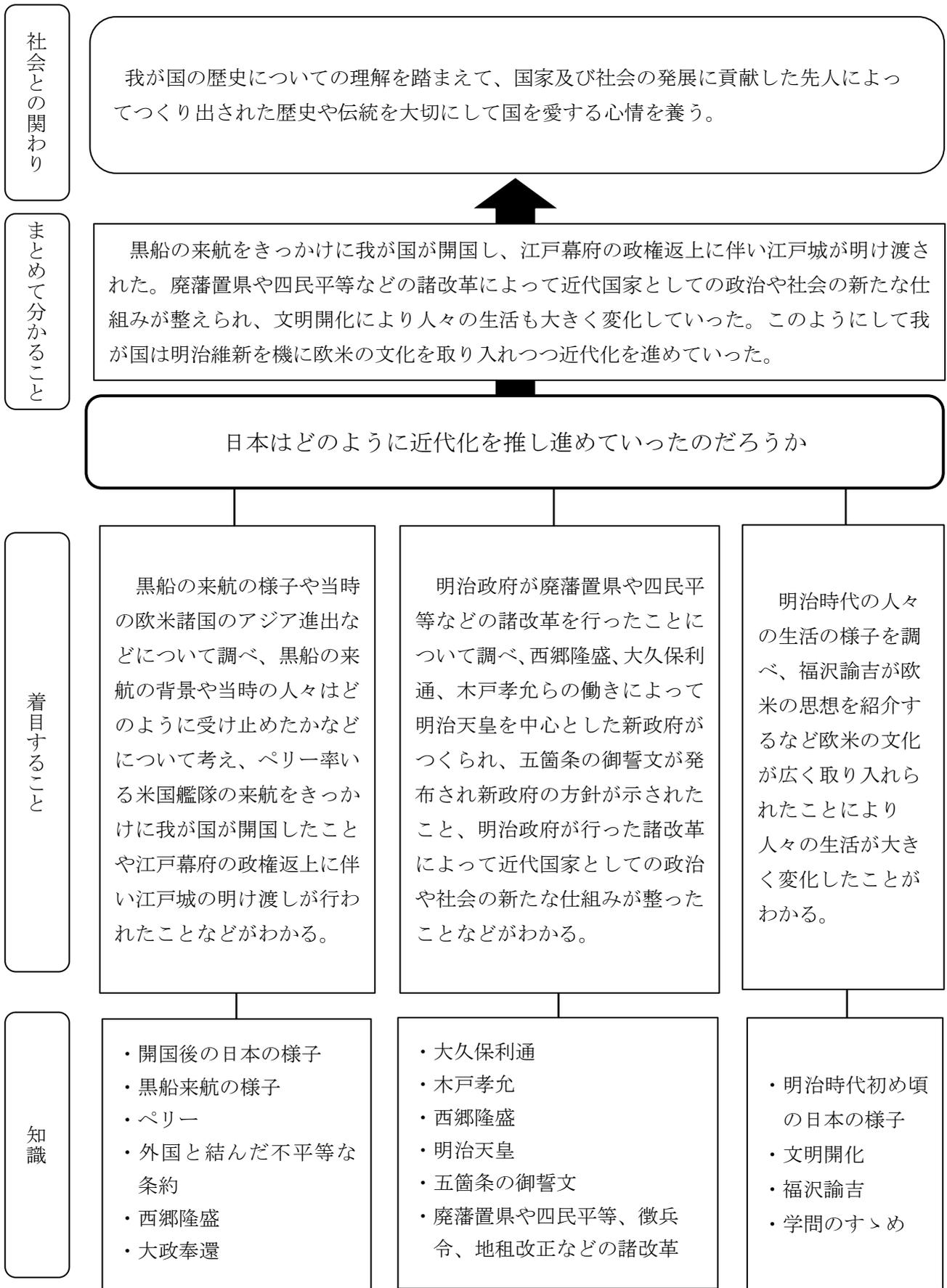
7. 資質・能力の育成に向けた学習評価計画（8時間）

※□は評価したことを記録に残す場面

| ○本時のねらい   | ○主な学習活動   | ◇主な資料   | 評価方法【評価規準】   |
|---|---|---|--|
| ① 2つの時代の様子を比べ、日本が近代化していったことに気付付き、単元を見通す学習問題を設定し、学習計画を立てられるようにする。                        | ○江戸時代から明治時代にかけての世の中の様子の変化について話し合い、学習問題をつくる。<br>○予想を出し合い、学習計画を立てる。 | ◇1872年の高輪の様子<br>◇1850年の高輪の様子  | 発言内容やノートの記述内容から、「世の中の様子の変化から問いを見出しているか」「予想や学習計画を立て、解決の見通しをもっているか」を評価する。<br>【思①】                  |
| ② 単元を見通す学習問題に対しての予想や、その根拠となる資料を調べることができるようにする。  | ○学習問題に対しての予想や、その根拠となる資料を調べる。【自分の考えに基づく調べ学習】<br>(GIGA)             | 必要な児童に個別での支援として配付<br>◇ペリー来航<br>◇廃藩置県<br>◇明治に始まったこと                              | ミライシードの記録から、予想や学習問題を見直したり、主体的に学習問題を解決しようとしたりしているかを評価する。<br>【熊①】                                  |
| ③条約の内容や、幕末の米の値段の移り変わりを調べることを通して、日本が外国との間に不平等な条約を結んだこと、開国したことにより人々の不満が高まったことを理解できるようにする。 | ○ペリーが来日した目的、アメリカと結んだ2つの条約について調べる。<br>○幕末の米の値段の移り変わりについて調べる。       | ◇ペリーが率いる艦隊と、防備を固める人々<br>◇条約によって開かれた港<br>◇外国と結んだ不平等な条約<br>◇幕末の米の値段の移り変わり<br>◇ペリー | 発言内容やノートの記述内容から、資料から必要な情報を読み取り、日本が外国との間に不平等な条約を結んだこと、開国したことにより人々の不満が高まったことを理解しているかを評価する。<br>【知①】 |
| ④倒幕運動を進めた代表的な人物を調べることを通して、江戸幕府が政権を返上したことを理解することができるようにする。                               | ○倒幕運動を進めた代表的な人物について調べる。   | ◇薩英戦争<br>◇当時のアジア<br>◇木戸孝允<br>◇西郷隆盛<br>◇大久保利通<br>◇勝海舟<br>◇大政奉還                   | 発言内容やノートの記述内容から、資料から必要な情報を読み取り、江戸幕府が政権を返上したことを理解しているかを評価する。<br>【知①】                              |
| ⑤明治政府の諸改革を調べることを通して、明治政府が様々な改革を進め、新しい国づくりを目指したことを理解することができるようにする。                       | ○明治政府の諸改革の内容や目的について調べる。   | ◇五か条の御誓文<br>◇四民平等<br>◇徴兵令<br>◇廃藩置県<br>◇地租改正<br>◇殖産興業                            | 発言内容やノートの記述から、資料から必要な情報を読み取り、明治政府が様々な改革を進め、新しい国づくりを目指したことを理解しているかを評価する。<br>【知①】                  |

|   |   |  |   |
|---|---|--|---|
| <p>⑥明治政府がすすめた諸改革を比較、関連、総合することを通して、近代化を目指したということについて考え、表現することができるようにする。</p>                      | <p>○明治政府が目指した国づくりについて話し合う。</p>  | <p>◇⑤と同じ<br/>◇⑤で調べたこと<br/>◇西郷隆盛の言葉<br/>◇当時のアジア</p>                   | <p>発言内容やノートの記述から、明治政府がすすめた諸改革を比べたり、つなげたり、まとめたりして、明治政府がどのような国づくりを目指したのかを考え、表現しているかを評価する。【思②】</p> |
| <p>⑦明治時代の人々の暮らしの様子や文化などを調べることを通して、文明開化によって暮らしや考え方が変化したことを理解することができるようにする。</p>                   | <p>○明治時代の人々の暮らしの様子や文化について調べる。</p>   | <p>◇明治時代に始まったこと<br/>◇学校に通った子どもの割合<br/>◇福沢諭吉<br/>◇明治時代の初めの頃の銀座の様子</p> | <p>発言内容やノートの記述から、資料から必要な情報を読み取り、文明開化によって暮らしや考え方が変化したことを理解しているかを評価する。【知①】</p>                    |
| <p>⑧単元を振り返り、単元を見通す学習問題について話し合うことを通して、日本が明治維新を機に欧米の文化を取り入れつつ、近代化を推し進めていったことを理解することができるようにする。</p> | <p>○学習したことをもとに、外国とのつながり、政治、文化について話し合う。<br/><br/>○学習したことを関係図や年表などに整理し、学習問題に対して考えをまとめる。</p> | <p>◇1時間目から7時間目までに扱った資料</p>   | <p>発言内容やノートの記述から、日本が明治維新を機に欧米の文化を取り入れつつ、近代化を推し進めていったことを理解しているかを評価する。【知②】</p>                    |

資料. 「社会のしくみ」と「社会との関わり」をつなぐ理解の構想図



## ★6年生として目指す子どもの姿

「これまでの学びを今の社会とつなげて考え、これからの社会生活に生かそうとする子」

## ★6年生部会重点

資質・能力の育成に向けた 深い学びの実現のための よりよい学習活動の工夫



### 【重点1】

「子ども一人ひとりにとって最適な時間、方法で学習に取り組むことができるような学習活動の工夫」【個別最適な学び】

従来のように、教師が与えた資料を、決められた時間の中だけで読み取り、調べていく学習ではなく、子どもたち一人ひとりが、自ら学習を調整し、最適な時間、方法で学習に取り組むことで学習を深めたり、広げたりすることができると思えました。具体的には以下の方法を取り入れました。

- ① 単元を見通す学習問題を設定して学習計画を立てた後に、学習問題の解決に向けて自分なりの方法で調べる時間を設ける
- ② 前時の最後に学習問題を立てて、次時までそれに對する予想や考えをもてるようにする

### 【重点2】

「既習と繋げながら協働的に学ぶことができるような手立て」【協働的な学び】

本時では、明治政府の諸改革を関連付けて、本単元の目標にもある「近代化」に結び付けることができるようにしたいと思えました。本時の学習問題である「明治政府の人たちは、どんなことを大切に政治を行ったのだろうか」について子どもたちが意見を発表した後に、西郷隆盛が廃藩置県を推進するための言葉を資料として提示しました。

この資料を提示することで、薩摩藩出身の西郷隆盛がなぜ藩を廃止する側にいるのか考えるきっかけとなりました。その理由を考える中で「近代化を押し進めなければいけなかった」ことに着目できるようになり、そこでその近代化に着目できた上で、もう一度他の改革を見直すようにし、諸改革と近代化との繋がりを子どもたちがより考えやすくしました。

殖産興業は「外国の進んだ技術を教わって～」というところが“近代化”に繋がる。みんなの意見が“近代化”と繋がっていたのだね

上のように「近代化」と既習（諸改革）を結び付けながら協働的に話し合いができるようになっていきました。